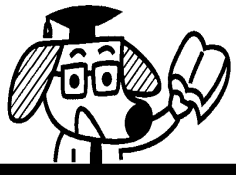
資料番号2823



流れ星は何でできているの

●宇宙のちり

流れ星のもとになる物質を、流星物質といいます。ほとんどの流星物質は、砂つぶのように小さな、宇宙のちりです。

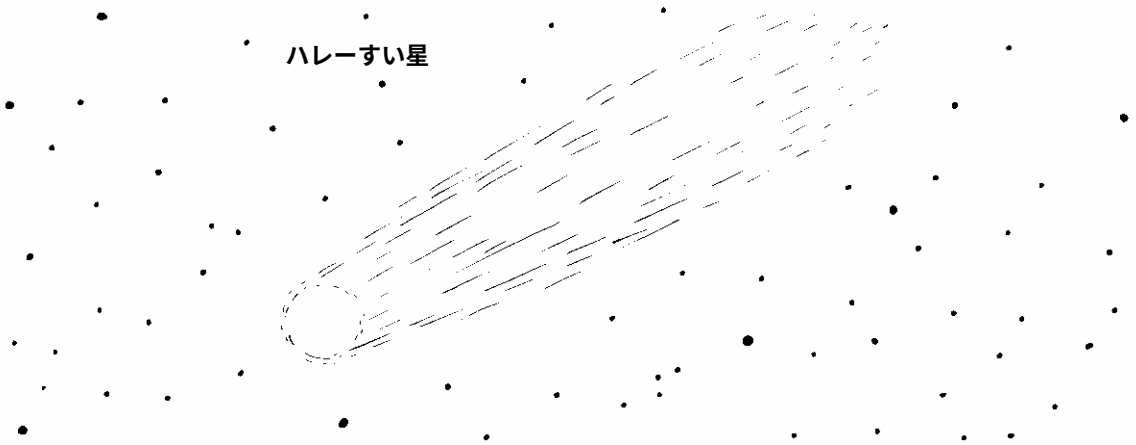
流星物質が、地球としょうとつするとき、地上から１００キロメートルぐらいまで近づくと、大気（空気）とこすれあって燃え、光を出します。これが流れ星です。

そして、ほとんどの流れ星は、大気中で燃えつきてしまいます。

●すい星のちりの「お」

ハレーすい星などのすい星は、太陽に近づくと長い「お」を引きます。「お」の中には流星物質となるちりが、たくさんふくまれているのです。

すい星のき道（動いていく決まった道すじ）を、地球が横切ると、たくさんの流星物質が、地球にしょうとつし、流星群が見られます。（監修・国司　真）



無断複製：転載：翻訳を禁ず Gakken　